

高齢者や認知症の人の気持ちをを知る

千葉県福祉ふれあいプラザの

疑似体験プログラム

徘徊中の認知症の人はどんな思いで街をさまよっているのだろうか？ その気持ちが疑似体験できると聞き、千葉県福祉ふれあいプラザを訪ねた。



認知症の人の気持ちを疑似体験中

一瞬で80歳を体験!? 「うらしまた郎」

同プラザは介護予防運動や介護実習などの実施、福祉用具・介護用品や住宅改修の相談まで介護に関する情報を総合的に網羅した施設だ。「体験コーナー」では高齢者疑似体験・車いす体験・認知症疑似体験を実施しており、年間200〜300人が訪れるという。

高齢者疑似体験プログラム「うらしまた郎&つくし君」は、耳栓や特殊眼鏡、重りなどを装着して「あつ」という間に80歳の身体感覚を体験できるというもの。高齢者が日々感じる不便さやもどかしさが理解できる。

室内の一角には車いす体験コーナーがある。ぬかるみを表現したマットや段差のある

コースを、車いすや高齢者用カートで移動する。小さな段差が想像以上に煩わしいことに驚いた。

心細い気持ちで街を徘徊する18分

お目当ての認知症疑似体験プログラムを受けてみた。イヤホンと特殊グラスを装着して18分間のDVDを見る。認知症の高齢者の目線で家から

街に出て行く様子が映し出される。耳に付く車の走行音。「買い物に行かなくちゃ」「ここはどこ?」「家に帰らなくては」「足が痛い...」心の声が時々映し出されるが家にはたどり着けない。夜じゆう歩き回り、朝になつてようやく保護された..。

高齢者や認知症の人の気持ちに寄り添う二連の疑似体験プログラム。一般の人の体験も可能。興味のある人は問い合わせせてみては。(R)

※問い合わせ先
☎04(7165)2886
同プラザ(我孫子市本町3の1の2)